



われわれ町民の努力実り、待望の栄橋もいよいよ当時の建設大臣の断下り、6億5千万円にて新橋かけ替え決定す。

新春におくる明るいニュース

栄橋の新設について県知事の回答

⑤

秘 第679号
昭和41年12月3日

北相馬郡利根町
栄橋架替促進対策委員会
委員長 加納 久顕 殿

茨城県知事 岩上二郎

栄橋の新設について (回答)

さきに陳情がありました上のことについて下記のとおり回答いたします。

記

現栄橋は老朽はなはだしく、現在の交通事情にあわないようになっております。そのために、現栄橋に補修を加え、新橋の完成まで最小限度の交通を維持することを目的として昭和41年度補修し着工いたします。(昭和42年2月1日着手)

路面の補修、主要鋼構造部の塗装、その他局部的な補修を実施いたし、交通止めは原則として行ないません。

なお、新橋の建設につきましては、架替工事は昭和42年度から着工を予定しております。

架設位置の決定については、建設省、千葉県側とも十分に協議をしたいので、地元のご協力をお願いいたします。

長い間の町民の努力みゆる

栄橋かけ替え問題の経緯につきましては、さきに広報とね第31号でご報告いたしましたので、皆さますでにご承知のとおりですが、その後上記の如く公文書(原文のまま)による岩上知事の回答によって栄橋の補修及び新橋の建設が決定いたしました。この機会にさらに一層のご協力をお願いいたします。

なお、仄聞するところによれば、関東三大ぜきである豊田ぜきも老朽はなはだしくため、これも当時の建設大臣の肝いりによって昭和42年度より建設省の直轄工事として大改築を行なうことも決定したそうで、重ね重ね喜びにたえない次第です。

とね 広報

茨城県北相馬郡利根町役場
昭和42年1月20日発行 第33号

年頭のごあいさつ

町長 加納 久顕



町長のご挨拶です。加納でございます。つしんで皆さまがたにごあいさつを申し上げます。皆さまあけましておめでとうございます。皆さまあけましておめ

どうございます。ご一家おそろいでよいお正月を迎えられたこととお喜び申し上げます。一昨年のひょう害に次いで昨年は「ウシカノ異状発生」といずれも大被害を受けましたが、幸いにも町民各位の情熱と工夫によってよい方向へ切り抜けて参りました。その間、町といたしまして

は、産業、教育、福祉を重点施策として、押し進めて参りましたが、いずれも慎重な計画により、重点的に逐次実行に移し、今日に至っております。幸いにも今年度は、長年の懸案でありました栄橋の新橋かけ替えも実施の段階となりました。従って町といたしましては、これを機会に岩上県政あげての鹿島臨海工業地帯と栄橋を通り、利根町を縦貫し、千葉県船橋市を結び、都心への国道誘致の一大運動も

すでに展開しております。ことしは「えと」で申しますと「羊」の年です。わたくし共の利根町でもこの年にふさわしいように、平和で明るく、町民の皆さまがたが健康でより楽しい家庭を築かれますよう念じております。おかげをもちまして、納税成績も九八・三%とすばらしい成績をあげております。いよいよことしこそは、施策の面でも万全を期したいと考えております。皆さまごきげんよう。

恐しい鶏の病気

ニューカッスル病を防ごう

鶏の法定伝染病の一つであるニューカッスル病の被害が、昨年は全国で三十数万羽もでております。この病気はウイルス(病毒)という目に見えない病原体が口からはいつてうつるもので鶏の肉、卵、糞、羽毛などといっしょに運ばれます。したがって衣服やくつなどに病毒をくっつけた人の鶏舎立ち入りは最も危険です。

症状としては、食欲や元気がなくなり、緑色の下痢便をします。また口を開いたり、首を伸ばしながら苦しうに呼吸をする。とさかが紫色に変色して眠ったようにぼんやりうずくまる。からだをふるわせたり口から血を吐くのもある。成鶏では、急に産卵率が落ちたり、まったく産まなくなる。——などで死亡率も高いようです。

予防にはワクチン注射で強力な免疫を与えておくことが一番です。注射後二週間ぐらいで免疫ができ、成鶏では六カ月、ひなでは二〜三カ月 効力が持続します。

自分の財産(鶏)を守るため未注射の鶏には、すぐに予防注射をしましょう。町では県畜産課及び取手家畜保健衛生所と協力して予防注射を実施しましたが、疑がわしい鶏がでたときは、必ず役場の産業経済課までご一報ください。

「向う三軒両隣り」協力しあって、ニューカッスル病やその他の鶏病を締め出しましょう。

- ① 材料Ⅱ(六人分)
 - ニンジン 1本
 - ジャガイモ 2個
 - キャベツ 3枚
 - セロリ 10センチ
 - ネギ 2本(または玉ネギ1個)
 - パセリ 大1枝
 - 豚こまぎれ 100グラム
 - 塩、こしょう、バター、あればタイム、ローリエ(香料)好みで粉チーズ
 - 作り方Ⅱ
- ② ニンジンは薄いいちよう煮立ったらあくをすくいと

- ③ ジャガイモはニンジンよりやゝ厚めのいちよう切りにして水にはなし、ざるに上げて水けをきる。
- ④ キャベツはせん切りにする。
- ⑤ セロリは小口切りにする。
- ⑥ ネギは一センチのぶつ切りにする(玉ネギなら四つ割りにして薄切り)
- ⑦ パセリはみじん切りにして大きじ二杯用意する。
- ⑧ パセリ以外の野菜全部と豚肉をなべに入れ、六カップほどの水をさして火にかけ、煮立ったらあくをすくいと

- ⑨ 好みに味をととのえる。あればタイム、ローリエを少し入れる。
- ⑩ 30分ほど煮るが、仕上がりに10分前ぐらいにパセリを入れる。最後にバター大きじ一杯ほど落とす。好みで粉チーズをふってもよい。
- Ⅱ 応用Ⅱ
 - ★ふだんのごく気楽なスープなので、材料もこれにこだわらず残り野菜を利用してよい
 - ★大麦や米を入れて雑炊風にしてもよい。

利根町食生活改善推進員協議会

バイクも強制保険に

はいらなければ走れません

昨年6月29日自動車損害賠償保障法が改正されました。この法律では、自動車が人身事故を起こした場合の損害賠償能力を確保するために、自動車に強制保険に加入させています。今度の改正で一般にバイクと呼ばれる原動機付自転車も強制保険の対象となり、昨年10月1日からは強制保険に加入しないバイクは使えません。

募集 「今晚の献立」

四季折々の材料を生かした「今晚の献立」を募集いたします。どなたにも手軽にできて、しかもおいしく栄養的なものを選んで広報に掲載します。食生活の改善に役立てたいと思っておりますのでご応募くださるようお願いいたします。(利根町役場・広報係)

町勢 (昭和42.1.1現在)	
世帯数	1,761
人口	8,738
男	4,280
女	4,458
発行所	利根町役場
町長	加納 久顕
編集	産業経済課広報係
電話	[利根] (029768) 9番 69番
印刷	倉沢印刷株式会社

年頭所感(商工振興のために)

利根町商工会長 小島栄一郎

首都東京を隔たる五十キロ圏内にある町村が近頃めざましき発展を遂げているとき、遺憾ながら町周辺の開発は遅々として進まず、かつて大利根水運の要路としていんらん(殷賑)をきわめた「布川千軒」の面影をいまやいずこにも求めようもない。

狭あいな消費地域の中に大資本の攻勢下零細業者が必死の苦闘を続けているのが、当町商工業者の実態である。この不振を打破し、商工振興の

ための基本政策として、経営技術面の問題は別として、まず、消費者の流失を防止し、更に積極的に大挙消費層の受け入れを計るべきであろう。これがために考えられるのが、地域開発であるが、その必要な施策のうち当町の実情に即した開発は宅地造成と観光資源の開発以外にはありえない。

六号国道が近き将来においての交通まひは必至であり、新たに(本年度)架設を予定

される新橋が東京及び京葉工業地帯と、県南及び鹿島港とを結ぶ重要路線として、その存在価値は大きく、新橋を起点として、県内各地へ通ずる道路の新設を図れば、利根町は県南表玄関をやく(扼)するの優位にあり、この際台地及び町の周辺水田を開発し、道路新設に呼応し、積極的に宅地造成を推進しながら、ここ数年を経ずして、一大田園都市の実現を期し得られよう。

また、名刹徳満寺(茨城百景)の景観、更に上れば利根・小貝の合するあたり富士筑波の秀峰を仰ぎ、果てしなく

打ち続くすき河原が、秋風になびくふぜいは、まさに県南随一の雄大な景観であり、なお、付近に点在する小沼は釣りの好適地として開発が期待されている。これら豊富な観光資源に特殊施設と多様な宣伝とを加えれば、将来潮来をりようがする観光地の実現も夢ではなからう。

取手は郡内四町の統合を強行し、大取手市の実現を夢見竜ヶ崎は隣接町村を吸収し、大田園都市の建設を企図している。更にまた印西町では三十万都市建設の構想が進められている。

本年こそ利根町も自主的開発方策を樹立し、一大飛躍への道を開くべきであろう。ここに利根町零細業者不振打開の道もある。

★納税は
日掛け
月掛け
心掛け★

今月の納税【1月】
町県民税 (第4期)
国民健康保険税 (第4期)

水道使用料
有線放送使用料 (第4期)

農業委員選挙人名簿の調整について

農業委員会の選挙人名簿は、昨年までは12月1日現在で調整しておりましたが、今回公職選挙法の一部が改正され、本年から毎年1月1日に調整されることになりました。

また、メートル法の施行により、耕作面積が反歩からアールに改正され、選挙人名簿の耕作面積の記載についても、従来の何町何反何畝何歩を何ヘクタール何アール何平方メートルとし、平方メートル未満は切り上げることとなっております。

その他については下記のとおりです。

- (1) 農業委員会から市町村委員会あてに申請書及びこれに代わる文書を送付すべき期限 毎年1月31日
- (2) 調整期限 毎年2月20日
- (3) 縦覧場所の告示期限 毎年2月23日から15日間
- (4) 異議の申出に対する決定期間 異議申出を受けた日から20日以内
- (5) 確定期日 毎年3月31日
(利根町選挙管理委員会)

胃の集団検診(レントゲン)のお知らせ

※あなたの胃の調子はいかがですか? 胃は毎日休まず働いているのに、たいせつにしない人が割合多いものです。

※長い間、胃のぐあいが悪いのにその場しのぎの手当てをしていると、消化の働きが悪く、そのために体力が衰えているような病気にかかってしまうこともあるし、ときにはガンなどのように早く見つけられなくなるのに、つい取り返しのつかないことになってしまう場合もあります。

※胃の調子をいつもよく保つには、胃の悪い人はもちろん健康な人でも一年に一回は必ず定期的にレントゲン検査を受けて、早めに正しい手当てをし、たちの悪い病気などにかからないで、健康で明るい生活を送りたいものです。

※前回の検査で異状のなかった人もぜひ今回も検査を受けましょう。

※ことしも2月に集団検診を行いますが、これは胃の総合的な検査で、胃ガンの前触れをはじめ、胃かいよう、胃炎などいろいろな胃の病気を発見することができます。

※検査の日どりやその他くわしいことは、後日回覧でお知らせしますから、すすんで検診されますようお勧めします。

交通事故についての注意

医療費は自動車損害賠償保険で

国保被保険者の皆さんへ

国民健康保険の被保険者であっても、交通事故による傷害の医療費は、すべて加害者が補償するのがたてまえです。そして、加害者個人にその能力がなくとも、自動車損害賠償保険によってその補償が行なわれることとなります。

もし、国民健康保険で医療を受けた場合は傷害に対する医療優先

のたてまえから、国民健康保険が立て替え払いをしたという事です。加害者と示談を結ぶ場合は、自己負担分の医療費だけでなく、国民健康保険が給付(支払)した額も含めた医療費を、加害者に請求してください。

なお、被保険者のかたで交通事故にあった場合は、本人直接でなく家族のかたでもけっこうです。すみやかに役場の厚生課・国民健康保険の係りまでご相談ください。

広報歳時記(1月)

- 1日 元日, 初もうで 15日 成人の日, 年賀は
- 2日 初荷, 書きぞめ がきお年玉抽選会
- 4日 官庁仕事始め 18日 初観音
- 7日 七草, 出ぞめ式 21日 初大師
- 9日 学校始業式 25日 初天神

◆日記をつけよう◆

『1月“家庭の日,, のテーマ』

とにかく家計簿をつけましょう

忙しい主婦にとって、なかなかむずかしいことですが、家計簿をつければ、わが家の生活状態を数字的にはっきりつかむことができ、予算をたてるときの貴重な資料になります。限られたお金をじゃうずに使うために家計簿の記帳をぜひ続けましょう。

旧地主と農地報償

旧地主に対する農地報償は本人の請求がなければ給付金は支給されません。申請の間は、昭和42年3月31日まで、それ以後は無効です。手続きは産業経済課の農地報償係りでどうぞ。(山田)

生活は美の中から

このたび、後記により第3回美術展覧会を開催いたします。展示品はわれわれアマチュア作品ではありませんが、純真な制作意欲の現われを鑑賞いただきたくご多用中とは存じますが、ご来場をお待ち申し上げます。

2月上旬利根町公会堂で

絵画・書道展

- 一、お話し 油絵のかきかた 鈴木重雄先生
- 一、余興 茶話会にまじえて絵あそび 秋山海堂先生

主催 光竜會 白竜會支部

火の用心

毎月7日は火災予防の日です。みんなそろって火の元には十分注意をはらいまし

歳末助け合い運動実績報告

助けましておめでとうございます。42年の新春を迎えて、町民各位のご健勝とご多幸を祝い申し上げます。

さて、昨年の暮れに、町内の恵まれない家庭にいくでも明るいお正月を迎えることができますように、あなたがたに「同情袋」をお配りいたしましたところのとおり好成績をおさめることができました。これには早尾長寿クラブが、としよりのできる事では協力しようということになり、廃品回収で得た益、1,000円の寄付が含まれております。また、加納新人クラブからも恵まれない施設にとぞうきん90枚いただきました。

お、昨年は衣類のきょ出をお願いしたところ、103多きに達し、配分委員会で恵まれない家庭に届けへん喜ばれました。まことに感謝に堪えません。お礼を申し上げます。

利根町社会福祉協議会長 加納久頭

情報していただいた金品	配布した金品	配布した世帯及び人員	備考
金 68,000円	68,000円	49世帯 156人	施設入所者19人に1人1,500円ずつ計28,500円を差し上げました。この中に18,000円が含んでおります。
米 625.4325kg (4石3斗8升9合)	625.4325kg		
米 41.7525kg (2斗9升3合)	41.7525kg		
類 103点	103点		